

# 国際関係史

担当教員： 上別府 隆男

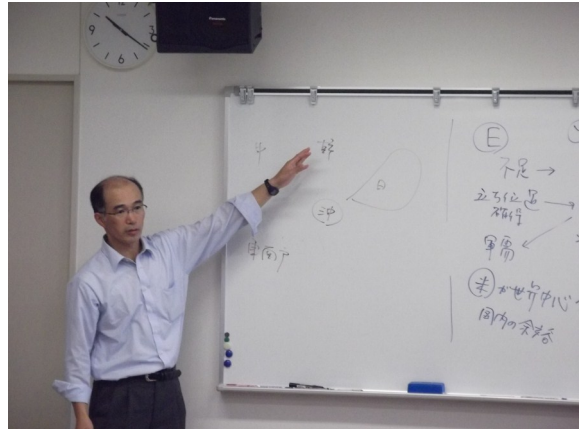
履修年次・区分： 1～4年（共通—教養—社会と経済）

授業のテーマ： 戦争の世紀とも言われる20世紀は、帝国主義、2回の大戦、東西冷戦、地域紛争などを経験してきたが、この授業では、その歴史のダイナミックスを理解することを目標とする。冷戦が終結して四半世紀が過ぎた現在、テロなど様相を変えた紛争が頻発しているが、歴史を振り返り、現在の状況が生まれた過程について考えていきたい。

この日の授業内容： 冷戦と超大国



「今なお見られる冷戦の名残には、どんなものがあるだろうか？」のテーマでグループディスカッション。冷戦後生まれの学生たちには少し手強いテーマだけに、上別府先生は適宜ヒントを出しながら話し合いをサポートされます。



在日米軍基地の8割が沖縄に集中しています。「なぜ沖縄の基地が重要なんですか？」「沖縄はアメリカの占領地だからです」「そうですね。他には？」「ロシアやアジアを抑える地理的要所だからです」一つ一つ、学生たちに確認しながら授業は進みます。

(2015年10月取材)